

「心をたがやす」道徳指導案 [小学校3年]

11月26日(火) 5校時 (14:00~14:45)

相模原プラン 「相手のことを考え、自分の発言に責任をもつ」(「心をたがやす」テーマ)

主 題 名 「文字だけで伝える難しさ」内容項目2-(2)

資 料 名 「このことばで相手に気持ちが伝わるかな？」(事例で学ぶNetモラルB-01)

1. ねらい  
相手の気持ちを考えながらコミュニケーションをとり、仲良く生活しようとする心情を育てる。
2. 資料の特質  
子どもたちは、お互いに顔を見合わせて話すという「直接的」なコミュニケーションの他に、電話やメール、手紙などを介した「間接的」な方法で関わりをもちながら生活をしている。その中で、意志の疎通がうまくはかれず、嫌な思いをしたという経験も少なくない。本資料は、メールに書かれた文章の受け取り方の違いにより、友だちとの約束が実現できなかったという内容構成になっている。  
本授業では、友だち同士の意志のずれ違いの場面におけるお互いの思いを考えることで、情報を受け取る相手の気持ちを考えながら発信することの大切さを考えさせたい。

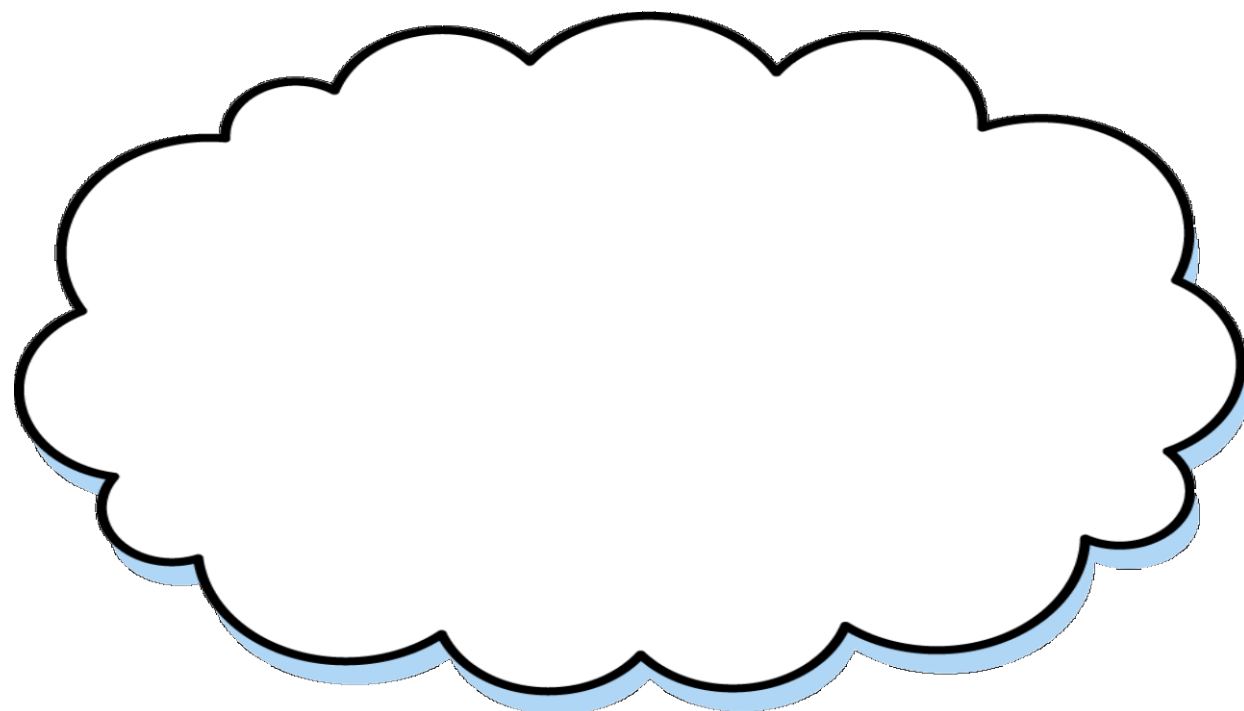
3. 本時の展開

	学習活動	指導の方法
導 入	1 友だちに気持ちを伝えるにはどんな方法があるかを考える ○放課後に友達と約束をして遊んだことがありますか。その時どんな方法で遊ぶ約束をしましたか。 ・直接会って話す・手紙を書く・電話する	・具体的な経験を思い起こすようにする。 ・手紙や電話、メールなどの反応が出た場合は、その方法の「よさ」や「どんな時に使うのか」について問い、その有用性を共有する。
展 開	2 「このことばで相手の気持ちが分かるかな？」を最後まで視聴して、グループで話し合う  ○じゅんさんはどんな気持ちでメールを送ったのかな。 ・行けないという「いいよ」 ・練習に行けなくてごめんね。残念だな。  ◎練習に来なかったじゅんさんのことを、あきらさんはどう思ったでしょう。 ・どうして来ないのかな。心配だな。 ・急な用事が入ってしまったのかな？ ・約束をしたのに、来ないなんてひどい。うらぎられた。 ・なんだよ。もう、一緒に遊びたくない。  3 振り返る ○友達とうまく気持ちを伝え合えなかったことはありますか。 ・友達と遊ぶ約束をしていたのに、結局会えずに帰ることになってしまった。	・話の内容が理解できていない児童がいると予想されるため、全体で話の内容について確認をしたい。 ・「いいよ」という言葉は、二つの意味があることに気付かせたい。 ・メールの内容についてグループで話し合えるように、手紙をA3サイズに拡大したものを使う。 ・待ち合わせに来ないじゅんへの不信感が多く出ることが予想されるが、じゅんの気持ちにも目を向けるようにする。 ・「お互いに悪気はなかったのに、なぜこのようなことになってしまったのか」について考えることで、相手の気持ちを考えた言動の大切さに迫っていきたい。 ・双方の気持ちを比較させて考えさせたい。 ・メールに限らず、自分の経験から考えるようにする。また、その時の気持ちにも触れる。
終 末	4 まとめる ○友達に気持ちを伝えるときに大切なことはどんなことだと思いますか？ ・相手の気持ちを考えて話したり、行動したりする。	・子どもたちの話を聞いていく中で、それぞれがふだん気をつけていることや、友だちの気持ちを考えてから伝えてよかったという経験を引き出す。

このことばで相手に<sup>あいて</sup>気持ちが<sup>きも</sup>伝わる<sup>つた</sup>かな？

年 組 番 名前

◎れんしゅうに来なかったじゅんさんのことを、あきらさんはどう思ったでしょう。



○友だちに気持ちを つたえるときに大切なことは どのようなことだと思いますか。

